

平成15年度事業報告について

I 事業の実施概況について

経済の先行きに薄が見え隠れするまでに回復の兆しを取りざたされてはいるものの、それは一部大手の企業業績の回復で、中小企業を初めとする一般の多くの企業は未だ厳しい状況の中で頑張っているのが現状ではないでしょうか。企業そのものを継続・繁栄させる責任(健全な経営)適正な納税を行う責任(納税の義務)そして、企業のみならず社会にも貢献する責任(社会への貢献)会員さんを側面からサポートしよう「経営を力強くサポートしよう」という考えのもとに、皆様のお役立ちをテーマとして活動いたしました。また、「仲間をより多く増やそう」という意向で会員増強運動を強力に展開しました。

平成15年度諸事業の概況について下記のとおり報告します。

1. 組織関係

- (1)本年度重点事項の法人会活動基盤である会員増強は、本部・支部・部会役員一丸となった会員増強運動にもかかわらず、期末会員数は3,970社と前期末比31社の減となりました。
- (2)地域における活動母体である支部単位の事業及びブロック研修会が活発に開催され、地域会員の交流が図られました。
- (3)地域を越えた階層別の組織である「青年部会」「女性部会」および源泉所得税の研修のための「源泉部会」並びに同業種の組織である「宅建部会」については、各部会とも税務、経営を中心とした研修会等部会活動を活発に行いました。
- (4)「おたすけPLAZA」では、ネット上でリンクするだけでなく、直接会合で会うことにより会員相互の企業PR会を毎月1回もち、会員の輪がひろがりました。

2. 事業関係

(1)地域社会貢献運動

「さわやか」みどり「アスレチック&パーベキュー大会」を10月25日につくし野フィールドアスレチックに於いて行い、当日ご来園の方々にタオルと税のパンフレットを配布しました。
今年も7月26日に「ヤビツ峠法人会の森」の除草刈りを行いました。神奈川県法人会連合会で280名の参加のうち緑法人会では20名参加しました。
女性部会ではチャリティーボウリング大会を11月6日開催し、当日の収益金を「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」及び緑・青葉・都筑各区の「社会福祉協議会」に各々寄付しました。

(2)支部・ブロック活動

支部活動は各支部及びブロックにおいて熱心に行われ、地域における会員の交流が図られました。また、平成15年度税制改正説明会を9ブロックで開催し、多数参加しました。

(3)税を知る週間協賛行事として社団法人神奈川法人会と合同で三遊亭楽太郎師匠を講師に迎え講演会を開催しました。

(4)講演会、セミナー等

会員企業経営者に必要な情報の提供と企業間の交流を深めるための「社長大学」を平成16年2月に岩国哲人氏を講師に迎え開講

しました。

「介護の実態とその対処法」

講師 都立公衆衛生看護専門学校講師 絹木 憲司氏
中堅社員フォローアップ研修会

講師 (株)ブランドウシー 山上真由子氏

総会記念講演「21世紀の経営者に求められるもの」

講師 講師 神田 紅氏

(5)説明会・講習会

税務当局および税理士会のご協力により「決算期別法人説明会」を毎月、「新設法人説明会」を6回、「年末調整説明会」を11月に3回実施しました。また、「緑法人会無料税務相談」を毎月1回実施しました。また、簿記・会計・税務講習会として「実務簿記講習会」を7月と2月に「法人税確定申告書の書き方講習会」を2～3月に実施しました。

(6)会員の親睦事業として、日帰りバス旅行「歴史民族博物館&ヒルトンホテルバイキング」を6月に、「富士国際花園&ぶどう狩り」を10月に実施し、多数の方々が参加されました。

(7)会員企業の経営者、従業員の健康管理のため、「生活習慣病健康診断」を毎年2回行っており、今回は平成15年9月と平成16年3月に実施し多数の方々が受診されました。

(8)ビデオライブラリーの充実を図り、会員企業に対する無料貸し出しサービスを実施し、社内研修に自己啓発にご利用いただきました。

(9)「おたすけPLAZA」は企業・起業の「おたすけ」を目的とした、説明会・企業PR会を毎月1回実施し会員相互の輪をひろげました。「緑法人会のホームページ」は、「業務及び財産等に関する資料」を公開しました。また、会員のリンクも130社を超え、緑法人会の様々な情報や地域紹介のために常時更新し、トップページ1年間だけで5,745件のアクセスがありました。 <http://midori.houjinkai.net/>

3. 税制関係 全国120万社法人会会員企業の結集をもって、平成15年9月20日東京国際フォーラムに於いて、平成16年度税制改正要望全国大会が開催され、税制改正要望事項「法人会ニュース」みらい第98号」平成14年10月発刊に掲載 を満場一致で採択し、政府、国会等関係方面に陳情を行いました。

4. 広報関係 法人会ニュース「みらい」を6回発刊しました。

平成15年度収支計算報告書 { 自 平成15年4月1日 ~ 至 平成16年3月31日 }

(単位: 円)

科目	予算額	決算額	差異	決算額内訳		備考
				一般会計	特別会計	
1. 収入の部						
基本財産運用収入	1,000	1,000	0	1,000	0	
会費収入	55,800,000	57,218,700	1,418,700	57,218,700	0	
部会費収入	3,800,000	4,497,569	697,569	4,497,569	0	
事業収入	3,896,000	2,766,075	1,129,925	2,766,075	0	
推進費収入	10,963,500	10,971,870	8,370	0	10,971,870	
補助金収入	5,719,500	5,805,500	86,000	5,805,500	0	
雑収入	816,000	1,210,163	394,163	461,703	568,460	
繰入金収入	809,458	1,320,238	510,780	1,320,238	0	
当期収入合計(A)	81,805,458	83,791,115	1,985,657	72,250,785	11,540,330	
前期繰越収支差額	19,332,544	19,332,544	0	19,332,544	0	
収入合計(B)	101,138,002	103,123,659	1,985,657	91,583,329	11,540,330	
2. 支出の部						
(1)事業費	43,561,000	38,597,725	4,963,275	33,542,396	5,055,329	
(2)会議費	4,000,000	3,942,904	57,096	3,391,293	551,611	
(3)管理費	29,950,000	29,326,058	623,942	25,144,306	4,181,752	
(4)固定資産取得支出	0	199,500	199,500	199,500	0	
(5)特定預金支出	4,500,000	7,844,285	3,344,285	7,844,285	0	
(6)法人税等引当金繰入	298,400	431,400	133,000	0	431,400	
(7)繰入金支出	1,278,849	1,754,154	475,305	0	1,754,154	
(8)予備費	1,000,000	0	1,000,000	0	0	
当期支出合計(C)	84,118,858	81,662,110	2,456,748	70,121,780	11,540,330	
当期収支差額(A)-(C)	2,313,400	2,129,005	4,442,405	2,129,005	0	
次期繰越収支差額(B)-(C)	17,019,144	21,461,549	4,442,405	21,461,549	0	